

# 丸子まちづくり会議 長瀬地区会議だより

発行日 令和7年9月15日

編集/発行 長瀬地区会議

会長 西嶋 治男

第  
25  
号

## 「信州松代まると博物館構想」の具体化は住民の手で



NPO 法人夢空間 松代のまちと心を育てる会  
【発足から今日まで】

- ▶2000年 「信州松代まると博物館構想」作成
- ▶2001年 夢空間「松代のまちと心を育てる会」約100人で発足
- ▶2002年 NPO法人認証
- ▶2010年 松代まち歩きセンターオープン
- ▶2012年 10周年記念行事、松代伝承館開設
- ▶2021年 「夢空間20周年記念誌」発刊
- ▶2022年 「手づくり郷土(ふるさと)賞」(国土交通大臣表彰)に選定



以前はコンビニだった場所が「松代まち歩きセンター」となり、三田事務局長による座学では、NPO法人の20年にわたる歩みについて、わかりやすく説明していただきました。参加者からは、「NPO法人の予算規模(年間約2,000万円、指定管理を2施設受託)」「スタッフ数(常勤2人・パート16人)」「電線の地中化と防火対策(道路幅が広がり、大型車同士のすれ違いがスムーズに。消防署の指導により防火装置も設置)」「市役所との連携(イベントへの協力依頼やマスコミ対応の重要性)」といった質問があり、ていねいに答えてもらいました。

座学の後には中村さんがガイド役となり、「まち歩き」を実施。道路整備費約12億円をかけた区間を散策し、大英寺(浄土宗)では、松代藩初代藩主・真田信之公の正室である小松姫の菩提を弔うために建立された寺について、住職が時間を割いて説明してくれました。小松姫の肖像画はここにしかないとのことでした。参加者からは「プロジェクターを使っただけの説明が分かりやすく、質問にも丁寧に対応してもらえた」「松代は通過するだけの町だと思っていたが、今回の研修でその魅力を知ることができた」「NPO法人の役員の熱意が強く伝わってきた」といった感想が寄せられました。

午後の施設研修では、象山地下壕を訪問。受付の方が「名乗るほどではありませんが」と謙遜しつつも、松代が本土決戦の最終拠点として極秘に建設された経緯を、非常に分かりやすく説明してくれました。「あの方から直接説明を聞いたのが、今回の研修で特に良かった」という声もありました。

## 今後の「出前ときめきのまち講座」の予定(2回実施)

### ❶ 10月5日(日) 午後1時30分～3時 長瀬市民センター

テーマは、「上田市の防災について」(担当: 上田市役所危機管理防災課)  
また、長瀬地区における消火栓や防災用資機材などの資料提供します。

### ❷ 令和8年2月2日(月) 午後7時より 長瀬市民センター

テーマは、「上田城跡整備について」

路線バス・デマンド交通など公共交通の出前講座ひらく



5年間で最大500円から1000円に引上げ

ゾーン制運賃の導入

経過措置

ゾーン制運賃の導入により、500円から1,000円に引き上げとなる地域もあることから、利用者の負担を考え、1年ごとの引き上げ上限額を100円に設定。5年をかけて、段階的に引き上げる。

乗車区間	R7.9まで	R7.10～	R8.10～	R9.10～	R10.10～	R11.10～
上田駅前～鹿牧湯車庫	500円	600円	700円	800円	900円	1,000円
上田駅前～真田自治C	300円	400円	500円	500円	500円	500円
上田駅前～下沖	400円	500円	600円	700円	800円	800円
上田駅前～青木BT	300円	400円	500円	500円	600円	600円

高校生利用促進のため通学定期利用者は据え置き

高校生の利用促進

ゾーン制運賃導入時は、通学定期利用券を現行額に据え置く。

例 上田駅前～真田自治C

時期	運賃 (片道1回)	3ヵ月定期(往復)		無との差額
		据え置き 無	据え置き 有	
現在	300円	30,780円	30,780円	0円
R7.10～	400円	41,040円	30,780円	10,260円
R8.11～	500円	51,300円	30,780円	20,520円

4割引！

パターンダイヤ化により、真田地域では約30分に1本、バスが来ます！  
送迎は、高いがバリン代の支払いだけでなく、運転する家族の時間や経済活動の機会が失われます。  
この機会に、是非、バス通学をご検討ください。

丸子デマンド交通 令和5年度（10月～3月まで1日平均17.9人から令和6年度（4月～翌3月）は、1日平均25.2人まで利用者が増え、今年度はさらに増えています。出席者から利便性向上のための質問が出されました。右の表は、デマント交通の目的地別のものです。

デマンド交通R7年4月～7月運行実績



長瀬地区会議は、9月1日、長瀬市民センターで第1回出前講座を開きました。

テーマは、「上田市の公共交通」で市役所からは担当の職員が説明しました。

路線バスの危機的状況として

- ① 運転手不足
- ② 2024年問題（働き方改革）  
※1日の休息時間が8時間から11時間へ
- ③ 常態化した路線バスの赤字（約1億1千万円赤字R5年度）
- ④ 内部補助の限界（路線バスの赤字を高速バスや貸し切りバスで補填する）
- ⑤ 路線バスの廃止の危機

以上を踏まえて、上田市とバス事業者との間で5年間の運行協定を締結します。

＜主な変更点＞

- ① 鹿牧湯線（平日のみ）の上田駅最終便を18時47分から20時00分を増便します。（丸子駅まで）
- ② ゾーン運賃の導入（最高額は現状の500円から5年間かけて1,000円まで引き上げ）  
左の図をご覧ください。
- ③ ゾーン運賃の導入後も高校生の通学定期利用券は据え置き高校生の利用促進を図る。
- ④ チケット QR回数券のプレミアム率を現行10%から20%に上げます。

4 目的地ランキング

順位	停留所名	降車回数
1	丸子中央病院	1020
2	ツルヤ丸子店	686
3	県営住宅石井団地前	399
4	デリシア上丸子店	277
5	グリーンヒル1	246
6	すがわら整形外科クリニック	241
7	飯沼2	221
8	中経	220
9	グリーンヒル3	218
10	丸子地域自治センター	169
11	中丸子団地集会所前	135
12	丸子駅	130
13	中村歯科医院	129
14	老人福祉センター	124
15	岸医院	116
16	石井1	110
17	沖山医院	108
18	藤原田1	97
19	市営上丸子団地	94
19	中丸子3	94

※降車地として指定された停留所を集計